



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL https://www.impressholdings.com/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輔
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000 (代)
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,969	6.2	322	208.4	340	186.0	254	192.4
2020年3月期第1四半期	2,794	4.3	104	147.4	119	150.2	86	△67.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 257百万円(133.1%) 2020年3月期第1四半期 110百万円(185.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	7.70	—
2020年3月期第1四半期	2.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	12,419	8,063	64.9	244.38
2020年3月期	13,086	7,887	60.3	239.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,063百万円 2020年3月期 7,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	2.50	2.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,650	1.3	435	6.5	480	7.8	370	7.4	11.21
通期	13,500	△0.1	350	△18.9	450	△13.8	320	△14.6	9.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	37,371,500株	2020年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,377,719株	2020年3月期	4,377,499株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	32,993,945株	2020年3月期1Q	32,997,343株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京)科技有限公司
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	電子書籍ファイルの受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド ㈱天夢人 Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売・物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、雑誌の季刊化の影響等に加え、コロナ禍における新刊刊行の中止や広告収入の減少等による雑誌事業及びイベントやセミナーの開催見送り等による減収があったものの、書籍の返品減少や電子出版が堅調に推移していることに加えて、国内向けの受託案件の増加や、IT分野のターゲット広告等の増収により補い、コンテンツ事業の売上高は、前期（2,277百万円）に比べ1.7%増加し2,316百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業や音楽分野の楽器マーケットプレイス「デジマート」が好調に推移し、売上高が前期（540百万円）に比べ28.7%増加し、696百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（2,794百万円）に比べ6.2%（174百万円）増加し、2,969百万円となりました。営業利益につきましては、増収に加え、売上原価及び販売管理費の減少等による収益性の改善により、前年同期（104百万円）に比べ218百万円増加し、322百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期（119百万円）に比べ221百万円増加し、340百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（86百万円）に比べ167百万円増加し、254百万円となりました。

(セグメント別の概況)

① IT

ITセグメントにつきましては、刊行点数の減少や雑誌の季刊化、コロナ禍における雑誌広告及びイベント・セミナーの開催見送り等による減収があったものの、電子出版の販売増や書籍の返品減少に加えて、PV増加等によりデジタル広告が堅調に推移、イベント開催の中止によりターゲット広告の需要が高まったことで、コンテンツ事業の売上高は前期（1,090百万円）に比べ4.6%増加し、1,141百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子書籍の販売が好調であったことにより、売上高は前期（38百万円）に比べ28.2%増加し、49百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（1,129百万円）比5.4%増の1,191百万円となりました。セグメント利益は、増収に加え、取材や営業活動の制約に伴う売上原価及び販売管理費の減少等により、前年同期（66百万円）と比べ138百万円増加し、205百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントにつきましては、音楽アーティスト関連の大型受託案件によりソリューション事業の売上高が増加したものの、雑誌2誌の季刊化と1誌の不定期刊化による減収に加えて、前年同期に音楽アーティスト関連のムック本のヒットがあった反動による減収等により、コンテンツ事業の売上高は前期（384百万円）と比べ13.6%減少し、332百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<https://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入の増加により、売上高は前期（72百万円）に比べ28.9%増加し、93百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（457百万円）と比べ6.9%減の425百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が減少したものの減収と収益性の低下により、前年同期（24百万円）と比べ23百万円減少し、0百万円となりました。

③ デザイン

デザインセグメントにつきましては、前年同期に趣味・実用分野の「スクラッチアート」シリーズのヒットがあった反動で新刊は減収となったものの、当期は電子出版及び書籍で既刊の定番タイトルの出荷が好調に推移したことにより、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（172百万円）比27.9%増の219百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善により、前年同期（0百万円の損失）と比べ44百万円利益が増加し、44百万円の利益となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、書籍や電子出版が堅調に推移したものの、コロナ禍における雑誌事業の減収や新刊の刊行及びイベントの中止が重なったこと等により、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（366百万円）比9.4%減の332百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下により、前年同期（34百万円）と比べ45百万円減少し、10百万円の損失となりました。

⑤ モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、前年同期は新規コンテンツの投入遅れにより電子書籍販売が減少していましたが、当期は新規コンテンツの投入が復調した結果、コンテンツ事業の売上高は前期（61百万円）と比べ15.0%増加し、70百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォームの大幅な増収により、売上高は前期（388百万円）と比べ31.0%増加し509百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（449百万円）比28.8%増の579百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善により、前年同期（55百万円）と比べ138百万円増加し、193百万円となりました。

⑥ その他

その他セグメントにつきましては、コロナ禍において大学の教科書採用の出荷遅れ等により理工書の販売が減少したものの、著書向けPOD出版プラットフォームサービスの販売増加のほか、鉄道分野のパートナー受託案件が増収に寄与した結果、売上高は前年同期（243百万円）比8.2%増の263百万円となりました。セグメント利益では、収益性が改善したものの販売管理費が増加したことにより、前年同期（0百万円の損失）と比べ11百万円利益が減少し、12百万円の損失となりました。

⑦ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売・物流管理機能を担う(株)Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入やグループ内手数料の増加等により、前年同期（458百万円）比16.3%増の533百万円となりました。セグメント利益では、増収により、前年同期（77百万円）と比べ59百万円増加し、136百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、受取手形及び売掛金の回収が進んだものの仕入債務等の支払により現金及び預金の増加が限定的であったこと等により、前連結会計年度末に比べ666百万円減少し12,419百万円となりました。負債につきましては、仕入債務等の支払や季節要因による賞与引当金の減少等により、841百万円減少し4,356百万円となりました。純資産につきましては、配当金の支払いによる減少があったものの、四半期純利益の計上により、175百万円増加し8,063百万円となりました。

自己資本は8,063百万円となり、自己資本比率は64.9%と前連結会計年度末(60.3%)と比べ4.6ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想及び配当の予想について、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定としておりましたが、第1四半期連結会計期間の実績を踏まえ、現時点で入手可能な情報をもとに、新型コロナウイルス感染症の事業リスクを織り込んだ第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想並びに配当の予想を、本日(2020年8月12日)付けで公表しております。

第1四半期連結会計期間においては、コロナ禍によるマイナスの影響はあったものの、電子書籍の販売増、書籍の返品減少に加え、ターゲット広告及びプラットフォーム事業が好調に推移したこと等で、前期比増収・増益となりました。

一方、第2四半期連結会計期間以降については、第1四半期連結会計期間において書籍等の返品が減少した結果、市中在庫の滞留による将来の返品リスクを抱えた懸念があることに加え、雑誌を中心に一層の広告需要等の落ち込み、イベントのオンライン開催への仕様変更等による規模の縮小等の影響が顕著となる見通しです。

以上により、第2四半期連結会計期間につきましては厳しい業績推移を想定しておりますが、増収・増益となった第1四半期連結会計期間の業績が下支えとなり、第2四半期連結累計期間の売上は6,650百万円(前期比101.3%)、営業利益435百万円(前期比106.5%)、経常利益480百万円(前期比107.8%)の見通しです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高は、ほぼ前期比同水準としているものの、リモートワークをベースとした業務ワークフロー構築へのDX投資、ファシリティ環境の整備等への一定規模の投資も加味し、減益の見通しとしております。

連結業績予想

(単位：百万円／()内は前期比増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
第2四半期連結累計期間	6,650 (1.3%)	435 (6.5%)	480 (7.8%)	370 (7.4%)	11.21円
通期	13,500(△0.1%)	350(△18.9%)	450(△13.8%)	320(△14.6%)	9.70円

上記予想は、経済活動及び景気動向が、現状から緩やかに改善していくことを前提としたものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等、様々な外的要因により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,051,529	5,471,170
受取手形及び売掛金	3,998,341	3,132,638
有価証券	400,000	200,000
商品及び製品	1,102,519	1,206,334
仕掛品	135,579	120,855
その他	502,896	455,136
返品債権特別勘定	△18,100	△18,700
貸倒引当金	△1,984	△582
流動資産合計	11,170,781	10,566,853
固定資産		
有形固定資産	388,688	380,198
無形固定資産		
ソフトウェア	151,995	145,855
その他	14,445	14,445
無形固定資産合計	166,440	160,300
投資その他の資産		
投資有価証券	633,236	638,921
繰延税金資産	263,453	263,680
その他	463,798	409,907
投資その他の資産合計	1,360,489	1,312,509
固定資産合計	1,915,618	1,853,009
資産合計	13,086,400	12,419,862
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,445	983,252
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	75,000
未払法人税等	84,870	94,641
賞与引当金	196,561	29,186
返品調整引当金	159,941	106,607
その他	1,391,083	1,229,424
流動負債合計	3,699,902	2,868,111
固定負債		
長期借入金	187,500	168,750
繰延税金負債	2,168	2,095
退職給付に係る負債	1,203,406	1,212,149
長期未払金	104,242	104,242
その他	1,425	1,425
固定負債合計	1,498,742	1,488,662
負債合計	5,198,644	4,356,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,667,861	1,667,861
利益剰余金	1,676,102	1,847,686
自己株式	△781,315	△781,347
株主資本合計	7,903,669	8,075,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,144	19,466
為替換算調整勘定	51,241	50,641
退職給付に係る調整累計額	△87,300	△82,241
その他の包括利益累計額合計	△15,913	△12,133
純資産合計	7,887,755	8,063,087
負債純資産合計	13,086,400	12,419,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,794,875	2,969,510
売上原価	1,674,760	1,625,567
売上総利益	1,120,115	1,343,943
返品調整引当金戻入額	60,158	52,734
差引売上総利益	1,180,274	1,396,677
販売費及び一般管理費	1,075,567	1,073,761
営業利益	104,706	322,916
営業外収益		
受取利息	375	443
受取配当金	470	415
持分法による投資利益	11,785	16,465
その他	3,492	2,873
営業外収益合計	16,123	20,197
営業外費用		
支払利息	1,074	1,077
為替差損	143	925
支払手数料	375	—
その他	17	181
営業外費用合計	1,610	2,184
経常利益	119,220	340,929
税金等調整前四半期純利益	119,220	340,929
法人税、住民税及び事業税	33,105	87,410
法人税等調整額	△765	△549
法人税等合計	32,340	86,860
四半期純利益	86,879	254,068
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,879	254,068

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	86,879	254,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,135	△678
為替換算調整勘定	2,270	△599
退職給付に係る調整額	7,311	5,059
その他の包括利益合計	23,716	3,780
四半期包括利益	110,596	257,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,596	257,849

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	1,129,556	457,363	172,029	366,657	449,679	2,575,287	243,867	△24,279	2,794,875
セグメント利益又は セグメント損失(△)	66,828	24,449	△45	34,625	55,174	181,032	△376	△75,949	104,706

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益又はセグメント損失の調整額△75,949千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△24,279千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△377,032千円、セグメント間の営業費用の取引消去325,361千円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	1,191,099	425,850	219,986	332,018	579,344	2,748,299	263,928	△42,717	2,969,510
セグメント利益又は セグメント損失(△)	205,565	807	44,696	△10,489	193,247	433,827	△12,213	△98,697	322,916

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益又はセグメント損失の調整額△98,697千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△42,717千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△392,177千円、セグメント間の営業費用の取引消去336,196千円が含まれております。